

いし森伝心

28

理事長 柏原康夫筆

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会情報誌「以森伝心」第28号 2014年1月

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



タマミズキ

タマミズキは、モチノキ科の雌雄異株の落葉高木である。常緑樹林の中に交じって生え、幹の太さは40~50センチ、まっすぐ円柱状に伸び、10~20メートルの樹高となる。生長の早い木で、背が高くなると下の枝を落とし、円形の跡が幹に残っている。樹形の特徴として、上部で太い枝が、放射状に伸びている。その樹形がミズキ科のミズキに似ていること、また実が美しいことから、タマミズキの名前がついている。

秋には、赤い小さな実を多数着けるが、緑色の葉に覆われており目につかず、落葉してからくっきりと見えるようになる。赤い実は、鳥たちの冬の大餐なえさになるという。

私が初めてタマミズキを見たのは、京都の東山である。幹だけ見ると、東山ではタマミズキと同じモチノキ科のナナミノキの区別がつけにくい。しかし、ナナミノキは常緑であり、葉の形や太い枝の付き方が全く違う。枝が高く肉眼では見えにくいので、現地で確認するには双眼鏡が必要だ。私がタマミズキを説明する時、「小さな子供が描く樹です」と言う。まっすぐな幹、上部の枝葉、タマミズキそっくりに描いている。

写真は、京田辺市にある甘南備山のタマミズキである。図鑑を見ると、生育数は少ないとあるが、京都周辺では意外と多く見かける。甘南備山には、タマミズキの大木が集まって生育している谷筋がある。薪甘南備山保存会の方に聞くと、山の整備をするなかで大事に残したそうだ。赤い実は、冬に遠目で見ると花が咲いているように見える。1年中タマミズキを観察できるスポットの一つだ。

京都森林インストラクター会 勝山雅弘(文・写真とも)

京田辺市 甘南備山にて



イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集



土曜ミニミニガイド、早春の草花展

技術課の職員による見頃の植物の解説や、一足早い春を感じられる「早春の草花展」を開催します。

(1)土曜ミニミニガイド

●会期：2月1日、8日、15日、22日（毎週土曜）

●定員：先着30名

●概要：技術課の職員とぞぞろ歩き。見頃の植物を解説

●集合場所・時間：植物園会館前 午後1時

(2)第9回 早春の草花展

●会期：2月14日（金）から3月23日（日）

●概要：早春の草花（パンジー、ビオラ、ストック、キンギョソウ、プリムラ類）200品種10,000株の展示など

●会場：大芝生地特設会場

参加費：無料（別途入園料必要 一般200円、高校生150円、中学生以下は無料）

問合先：京都府立植物園（京都市左京区下鴨半木町）

TEL：075-701-0141



参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

2月16日(日) 茶源郷和束ビジネス・カレッジ 2013

森林インストラクター育成研修②



フィールドワークを取り入れながら、森林について学習し、教育型観光の商材として活かせるよう、「森林環境保全」「地球温暖化と森林の役割」「間伐と枝打ち体験」等の指導技術を学びます。

講師：京都森林インストラクター会 篠部幸雄氏、水口征親氏

●時間：①座学（10時～12時）及び②フィールドワーク（13時～15時）
①②もしくはいずれかの選択もできます。

●集合場所：和束茶カフェ会議室

●参加費：無料

●主催：和束町雇用促進協議会

●申込・連絡先：事前にWebページ（HP「茶源郷和束ビジネス・カレッジ」で検索）からお申込みいただけ、下記までお問合せください。
和束町雇用促進協議会

TEL：0774-78-4181



助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。

申請される場合は、必ず事前に募集団体にご確認ください。

6/10
(火)
まで

公益財団法人日本環境協会／藤本倫子環境保全活動助成基金 2014年度募集（こども環境活動支援助成）

こども達が環境について自ら考え行動することの手助けとなるべく、こども達の自主的な環境活動に対して活動費用の助成を行います。

- 助成対象：こども会、こどもエコクラブなど、小学生や中学生によって組織されるグループ。教育機関（小中学校に限る）には助成できませんが、クラブ活動や課外活動などの生徒・児童が主体的に取り組む活動であれば、そのクラブやプロジェクトで助成申請が可能です。

※助成金などの資金援助を受けることが難しいグループの支援を目的としてありますので、企業などが主催して組織するグループ、月謝を得て運営される塾や教室、NPO法人や任意団体等の非営利組織は対象外となります。

- ①最低5名以上のメンバーが参加する、環境に関心のある小学生、または中学生のグループであること。
- ②メンバーで力を合わせて取り組みたい環境活動や、学習したいテーマがあること。
- ③活動の安全を図り、当基金事務局との事務連絡や会計管理を行う成人のサポートを受けることができるること。

- 助成対象事業：次の要件を全て満たす活動
①こども達（小学生・中学性）が興味を持って自主的に取り組む環境活動であること。

②活動を通じて、環境に対する学びを得ることができる内容の活動であること。

③自分たちが暮らす地域の中で行われる活動であること。

④計画に無理がなく、安全に配慮されていること。

⑤2014年7月1日～2015年2月29日までの間に実施される活動であること。

⑥イベントや学習会に参加することを主目的にした活動ではないこと。

- 助成金額：参加するメンバーの人数に応じて10万円を限度に助成（1名あたり2,500円上限）

●募集期間：2014年4月15日（火）～2014年6月10日（火）当日消印有効

●問合先：公益財団法人日本環境協会 藤本倫子環境保全活動助成基金事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階

TEL：03-5643-6262

E-Mail：jea@japan.email.ne.jp

【情報募集】森林づくり関連イベント、助成金情報のページに掲載を希望される方は、当協会事務局あてにご連絡ください（連絡先：4ページ下参照）。

「森林・林業・木材産業京都会議」を開催します ～オール京都で森づくり、木材利用を推進～

3月3日(月) 10:30 ~ 17:00

オール京都で森づくり、木材利用を推進するため、企業、大学、森林・林業・木材産業等の関係者が一堂に会して連携する「第2回森林・林業・木材産業京都会議」を開催します。皆様のご参加をお待ち申し上げております。

●会場 ルビノ京都堀川(京都市上京区東堀川通下長者町下ル 075-432-6161)

●内容 ※予定。変更になることがあります。

【本会議(10:30 ~ 12:30)】

■表彰

- ・森づくり推進優良部門の表彰
- ・府内産木材利用優良施設の表彰
- ・モデルフォレスト運動推進の表彰

■基調講演

「CLTの取組と木材利用の展望について」(仮題)

日本CLT協会会長 中島浩一郎氏((株)銘建工業 社長)



【分野別会議(14:00 ~ 17:00)】

■モデルフォレスト運動推進大会

パネルディスカッション：モデルフォレスト活動企業・団体

「第1回 森林・林業京都会議」の様子
(平成25年3月5日開催)



■森林・林業活性化大会

基調講演：「社内資格制度でモチベーションアップ」(仮題)

(有)安田林業 代表取締役 安田孝氏

取組報告：林業大学校生、森林組合等

■木材利用拡大大会

基調講演：「エンジニアード・ウッドを使った山への還元」(仮題)

越井木材工業(株) 代表取締役社長 越井潤氏

取組報告：府内産木材の利用

●参加申込 HP等でお知らせします。

情報誌「以森伝心」アンケートへの御協力、 ありがとうございました。

昨年11月27日から12月16日までの期間、計39名・団体の皆様に御回答いただきました(回答率10.8%)。

●「以森伝心」が役に立っているかどうかについては、「まあまあ役に立っている(59%)」、「大変役に立っている(23%)」を合わせて「役に立っている」との回答が82%を占めました。

●記事の充実を希望する内容については、多い順に「森づくり活動の先進事例(18件)」、「森の恵みの利活用の先進事例(10件)」となりました。

●希望するお届け方法については、「紙媒体の郵送」が51%、「メール送信」が28%でした。

●「以森伝心第26号」の中で特に興味深かったもの、役に立った記事で最も多かったものは、チーム以森伝心の皆さんによる「森林に生かされる人々(18件)」でした。

御協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。皆様からいただいた御意見をもとに、次年度の「以森伝心」を更に良いものにするために内容等を検討していきます。

もり 森林の楽しみ方

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポートークラブです。今号では、チーム以森伝心メンバーが皆様におすすめの「お気に入りの森林」、森林がもっと楽しくなる「冬の森林で遊ぼう」をお届けします。

私のお気に入りの森林

…与保呂水源の森（舞鶴市）…

舞鶴市から南東へ5km、与保呂川の源流にある与保呂水源の森は、林野庁の「水源の森」100選に選定されています。



かつて軍港だった舞鶴市では、明治31年(1898年)にこの森を水源とする軍用水道の建設が始まり、明治33年(1900年)には桂貯水池が、同38年(1905年)には岸谷貯水池が完成し、100年以上経った今でも、下流の与保呂集落の生活用水や農業用水、舞鶴市の水道水として利用されているそうです。貯水池周辺は、ミズナラ、コナラ、シデ、アカマツ、スギ、ヒノキ、ケヤキなどの大径木が生い茂る美しい森となっています。

廃墟を思わせる美しい近代建築の水道施設と、周辺の深く静かな森が織りなす何とも不思議な光景に、行く度に心を奪われます。



岸谷貯水池放水路

春や秋には浄水場周辺はレクリエーションや行楽の場として賑わい、幼稚園や小学校の遠足コースにもなっているそうで、人々の憩いの場となっています。

[西本 雅則]

参考：林野庁 「水源の森」100選 60 与保呂水源の森
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/suigen/hyakusen/060.html>

事務局からのお知らせ

- 3月3日(月)に「森林・林業・木材産業京都会議」を開催します。ぜひご参加ください(詳細は3頁参照)。
- 当協会Webページに企業の皆様の活動を随時アップしています。ぜひご覧ください。

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町123 京都府林業会館3階 (住所が新しくなりました。)

TEL & FAX 075-823-0170 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2014年1月発行

デザイン：自然堂(じねんどう)株式会社

冬の森林で遊ぼう

…冬芽…

冬がはじまる12月にはまだ落葉樹には葉が少し残っている。葉がなかなか落ちないクヌギもあるけれど、その葉が落ちると来年の葉が準備を始めた事になる。節分が過ぎ、立春が過ぎた頃にはほとんどの落葉樹は葉を落とす。ケヤキの細い枝先の梢の先が日に日に膨らんでいるのを眺めていると、気持ちまでぽかぽか暖かに膨らんでいく。そのころ枝の新芽を観察してみると、色んな冬芽が観られる。木々の顔ともいわれる冬芽はそれぞれの木により形や大きさ、表情までもが違っている。森の落葉樹の冬芽を接写で撮り、子どもたちに探してもらおう。子どもは観察する事が好きなので、どんどん見つけてくれる。猿の顔のようなものから、帽子をかぶった笑顔の顔、マントを着込んだコウモリのようにも見えるもの。一本の枝にはたくさんの冬芽が付いているから笑顔が並んで見えたりする。それぞれ見付けてきた冬芽が何に見えるか、子どもたちに話を作ってもらいたら、寒い観察も、暖まるかもしれない。



冬芽

[小泉 昭男]

- 平成25年度会費をまだ納入していただいていない会員の皆様におかれましては、なるべく納入いただきますよう、御協力をよろしくお願い申し上げます。